

ソラードの取材協力について

記 山田 一子

万博公園・ソラードについて朝日新聞の取材があるので来てくれませんかというお話でした。取材当日は梅雨の盛りにもかかわらず、少し日差しものぞく好天でした。集まったのは万博事務所緑地課の田倉主査、万博公園学習館の横山館長をはじめ、7人ほどでした。取材は、万博跡地にできた森の中に建設されたソラードの歴史や魅力に始まり、ソラードを活動のフィールドにし、会の名前をソラードに由来しているボランティア団体であるソラードの会にも、たくさんの質問をいただきました。

その後、実際にソラードを歩いてご案内しながら、夏の樹々や生き物の様子を見ていただきました。いつも私たちが子供たちに話したり、体験させていることを交えながら歩き、最後に万博公園の森だけでなく、周辺地域まで眼下に収める塔のてっぺんまで登っていただきました。これまで何気なく見ていた身近な植物にも思わぬ発見があったようで、とても喜んでいただいたようです。

単なる遠足できていた学校の子供たちと、自然の中での感動の体験を共有する取り組みを始めて、2004年の発足から16年、現在では大阪府下だけでなく、近畿一円からもたくさんの学校が来てくれるようになり、昨年度は5500人を超えました。昨年度は国土交通省の緑の愛護表彰を受けましたし、会員は忙しい中にもやりがいと充実感で楽しんでいます。そんな一端を今回の記事で取り上げていただき、ご紹介できたことはうれしいことでした。